

事業計画書 収支予算書

平成28年度
(第7期)

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

一般社団法人日本流行色協会

101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-2-31 第36 荒井ビル 6F

TEL. 03-5275-1016 FAX. 03-5275-1017

平成28年度（第7期）事業計画書

一般社団法人日本流行色協会は、「COLOR Makes Value jafcaは“色”で新しい価値を創造します」をテーマに、「価値を創りだす色」を発見するための活動を実施し、その活動から知り得た知識を共有し、新しい価値につながる色を提案して参ります。メンバーとの活動結果やカラー提案は、公益団体として広く広報し、産業界に新しい価値を築く手助けをして参ります。

一般社団法人日本流行色協会 運営方針

日本流行色協会の使命は、流行色の発信を通じて産業界の需要を喚起し、経済効果を促進することであり、その実現により協会の価値が社会において評価されることを目指す。

今年度は、次の4点を重点課題として活動していきたいと考えております。

- (1) 豊かな生活文化に寄与する情報発信活動を行うこと。
- (2) 会員と共に活動し、会員自らが色の価値を創り出せる力をつける手助けをする。
- (3) 会員が異業種との活動を通して、新たな色の価値を発見する手助けをする。
- (4) カラー活用のために有益な情報を作成し発信する。

以上の方針の実現の為に、今年度は次の通りの事業活動を策定いたしました。

平成28年度事業計画の概要

1. カラートレンド情報事業

重点ポイント；

提供する流行色情報の価値向上のため、市場が求めるニーズを把握し、情報収集を強化する。また各部会活動、分科会、研究会活動への会員参加を促し、活動を活発にする。役に立つ結果を導き出し、会員と共有する。

(1) 部会運営

○プロダクツ・インテリア部会、レディスウェア部会、メンズウェア部会、分科会が、それぞれ、或いは異なる部会で共通の目的による活動を行う。

- ・新規研究会の運営によって部会横断的な活動を行う。
- ・カラーパレット内容の刷新のための情報収集、実施に向けてのコスト算出。

○JAFCAカラー活用方法を解説するセミナーの実施。

(2) 委員会・分科会・研究会運営

○インターカラー日本委員会 カラーパレット仕様の刷新を検討。

○化粧品分科会、自動車色彩分科会メンバーの積極的な参加を促すための内容を検討、実施。

○新規研究会「高齢者を元気にするカラーデザイン」の実施。

・メンバーを募集し、活動を開始する。

(3) 情報発信

○媒体ごとの提供情報の整理および内容、タイミングの見直しを図る。

・季刊流行色の編集会議を活発に行い、カラーパレット情報との連動を図る。

・ホームページの内容充実を図る。

2. 出版事業

重点ポイント；

JAFCAの持つコンテンツの有効活用と一般認知向上の為、協会内にあるコンテンツによる出版を検討。

○季刊「流行色」誌の新規購読者獲得に向けたコンテンツの再検討と体制強化。

・編集体制の強化、外部執筆陣との連携によるコンテンツの充実。

○JAFCA保有コンテンツによる出版検討。

・色彩ベーシックコーステキスト作成、計画、執筆、一般販売を目指す。

3. 研修会事業

重点ポイント；

カラートレンド情報活用の意義や方法についての認知向上を目指し、出版事業との連動や、関係諸団体との協業によるセミナーを開催。

(1) 主催セミナー：

○カラートレンドセミナー：トレンドカラー解説 年2回 東京・大阪開催

○色彩講座ベーシックコース：色彩基礎講座 年2回 東京開催。

○センサリーデザインセミナー：CMFデザインを含む感覚に訴求するデザインについて、広く探究するセミナーや見学会、勉強会を開催。

○「カラートレンド形成の理由」に関するセミナーを実施。

○「高齢者を元気にするカラーデザイン」研究会の成果をセミナーで、一般にも発表。

4. イベント事業

(1) オートカラーアワード2016

○オートカラーアワード(ACA)の継続・拡大。

・リニューアルした形をベースとして、新規参入を促進する。

・第20回開催を視野に入れ、運営の外部委託を検討。

5. 指導監修事業

重点ポイント；

JAFCAの収益事業の柱として、主催セミナーや他団体共催セミナーなどを通じた受託事業の強化。また、会員ネットワークや、外部団体、企業との連携強化により、より専門的、個別的な要望に対応することで、コンサルティング分野の領域拡大を図る。

○JAFCAコンサルティング対応分野

(1) 色彩基礎知識

・企業などのセミナー、ワークショップ企画や講師派遣など。

(2) 色彩情報の収集、整理、分析

・商品の色彩管理、市場動向分析など。

(3) 創造力増強プログラム

・カラーデザイン発想強化プログラムなど。

(4) 色彩の市場戦略

・ディレクションカラー選定、カラー戦略立案など。

○大学、専門学校等への出講・講師派遣

・学生向けにカラーの重要性、カラートレンドの意義等について啓蒙する。

○共催セミナー、講師派遣

・他団体との共催セミナー、新講座の開催検討。

6. 国際活動

(1) ミラノサローネ、インターカラー等、デザインやカラーに関する国際イベントへの参加・視察。

・インターカラー（国際流行色委員会）：日本代表として年2回参加

・ミラノサローネ：4月外部旅行会社とのコラボレーションによる見学ツアーを実施。その後詳細セミナーを開催。

(2) パントンとの連携：合同セミナーを開催。

(3) 北京京盛风向管理咨询有限公司開催セミナーへ講師派遣。

7. 関連機関との連携

(1) 東京商工会議所との連携

○カラーコーディネーター検定に関する協力等。

(2) 各自治体との連携

○カラーデザイン戦略による商品力向上などの重要性の提言。

○地域産業の振興のためのトレンドカラーの重要性の提言。

8. 広報活動

○11月16日（いい色の日）に「今年の色・来年の色」を発表。

- ・ 専門委員、他団体との連携を検討。
 - ・ 「今年の色」を活用した商品企画等、企業とのコラボレーションによる商品開発を実施。
- ホームページ、SNS や、web のプレスリリースを利用した広報活動の強化。

平成28年度 第7期 自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

平成28年度収支予算書

(単位：円)

科 目	平成28年度予算額	平成27年度予算額	対27年度予算増減	備考
I. 収入の部				
会 費 収 入	46,210,000	47,740,000	▲ 1,530,000	
インターカラー日本委員会会費	6,020,000	7,140,000	▲ 1,120,000	
化粧品分科会費	3,300,000	3,480,000	▲ 180,000	
自動車色彩分科会会費	1,440,000	1,200,000	240,000	
新規研究会会費	1,200,000	1,200,000	0	
オートカラーアワード事業収入	6,500,000	4,400,000	2,100,000	
研修会事業収入 (セミナー事業)	8,000,000	7,500,000	500,000	
指導監修事業収入 (コンサルティング事業)	9,000,000	13,000,000	▲ 4,000,000	
出 版 収 入	110,000	250,000	▲ 140,000	
購 読 料 収 入 (「流行色」購読料)	10,532,000	10,600,000	▲ 68,000	
広 告 料 収 入	640,000	500,000	140,000	
雑 収 入 (その他の事業収入・受取利息含む)	220,000	200,000	20,000	
60周年事業収入	296,000	700,000	▲ 404,000	
当期収入合計	93,468,000	97,910,000	▲ 4,442,000	
前期繰越収支差額	10,974,333	15,293,759	▲ 4,319,426	
合計	104,442,333	113,203,759	▲ 8,761,426	

科 目	28年度予算額	27年度予算額	対27年予算増減	備考
Ⅱ. 支出の部				
1. 事業費				
インターカラー日本委員会事業費	4,170,000	4,500,000	▲ 330,000	
化粧品分科会事業費	2,674,000	2,700,000	▲ 26,000	
自動車色彩分科会事業費	700,000	700,000	0	
新規研究会事業費	300,000	500,000	▲ 200,000	
オートカラーアワード事業費	5,000,000	2,600,000	2,400,000	
研修会事業費 (セミナー事業)	3,054,000	2,400,000	654,000	
指導監修事業費 (コンサルティング事業)	2,800,000	4,200,000	▲ 1,400,000	
出版事業費	30,000	30,000	0	
季刊誌 製作費 (「流行色」購読料)	11,000,000	11,000,000	0	
広告制作費	20,000	200,000	▲ 180,000	
トレンドカラーサンプル製作費	5,357,000	5,000,000	357,000	
広報普及費	2,000,000	2,000,000	0	
調査研究費	252,000	300,000	▲ 48,000	
60周年事業費	219,000	550,000	▲ 331,000	
事業費 計	37,576,000	36,680,000	896,000	

科 目	28年度予算額	27年度予算額	対27年予算増減	備考
2. 管理費				
人 件 費	34,000,000	39,600,000	▲ 5,600,000	
福 利 厚 生 費	5,100,000	5,100,000	0	
支 払 報 酬	350,000	350,000	0	
諸 会 費	290,000	290,000	0	
支 払 手 数 料	300,000	300,000	0	
事務所賃借料	9,120,000	9,000,000	120,000	
会 議 費	860,000	600,000	260,000	
事 務 費	3,500,000	4,000,000	▲ 500,000	
涉 外 費	40,000	100,000	▲ 60,000	
雑 費	30,000	50,000	▲ 20,000	
租 税 公 課	1,250,000	1,500,000	▲ 250,000	
法 人 税 等	70,000	70,000	0	
管理費 計	54,910,000	60,960,000	▲ 6,050,000	
3. 予備費	200,000	200,000	0	
当期支出合計	92,686,000	97,840,000	▲ 5,154,000	
当期収支差額	782,000	70,000	712,000	
次期繰越収支差額	11,756,333	15,363,759	▲ 3,607,426	